



せんぼんまつばら

# 52

## 千本松原



- 所在地／沼津市本
- 規模／幅0.1km、長さ10km、面積103ha、樹齢27～125年
- 指定／防風保安林、潮害防備保安林、保健保安林
- 問合せ／沼津市観光交流課 電話 055-934-4747

### 静岡県



#### 立地環境

沼津市の狩野川河口から富士市にかけての、駿河湾北部沿岸の砂州上に連なる松林です。

#### 松原の今昔物語

### 地域の人々の生活を守り、地域の人々に親しまれてきた松林

戦国時代に松原が焼き払われ、住民が潮害に苦しんでいる姿を見かけた旅の僧・長円（増誉上人）が、住民の生活の安定を祈願し、念仏を唱えながら松苗を天文6（1537）年に植え始め、その姿を見た住民が心打たれて植林に協力し、今日の松原になったと伝えられています。

現在は、その松も30数万本になり、地域の人々の生活に欠くことのできない防災林として、行政・地域住民が協力し合い、大切に守られています。

晴れた日には、松原の上に浮かぶ富士山を望む景観も美しく、明治・大正時代に沼津市に居住した歌人の若山牧水も千本松原をこよなく愛し、歌も多数詠まれています。

狩野川の河口を挟んで千本浜公園と御用邸記念公園があり、遊歩道、生活環境保全林が整備され、市民の憩いの場として、また東海・関東一円の観光客で四季を通じ賑わっています。

#### COLUMN

この地は文人とのかかわりが深く、千本浜公園には若山牧水・井上靖・池谷観海・角田竹冷・明石海人の歌碑や文学碑があり、付近には若山牧水記念館、芹沢文学館があります。松原内には千本浜公園から原まで続く遊歩道（約6km）があり、市民に親しまれるウォーキングコースとなっています。海沿いに連なる防潮堤や、沼津港にある日本最大級の水門「びゅうお」の展望室（地上約30m）からは、雄大な富士山とともに長く続く千本松原が眺望できます。

#### ACCESS

##### ●電車やバスの場合

JR東海道本線沼津駅下車、沼津登山東海バスで8分、「千本公園」下車、徒歩5分

##### ●車の場合

東名高速道路「沼津」I.C. から車で15分

